



学校だより No.12

沼田市立沼田西中学校

【学校教育目標】「高い知性、温かい心、たくましい体をもつ生徒の育成」

- 《目指す生徒像》
- 向学 ……自ら学ぶ生徒
 - 礼節 ……思いやりのある生徒
 - 進取 ……挑戦する生徒

《目指す学校像》…生徒が心から「通いたい」と思える開かれた学校

《目指す教師像》…熱意、誠意、愛情のあふれる教師

【本年度の重点目標】「主体性と支え愛の創造～3つの気（やる気・勇気・根気）を伸ばすワンポイントアップ大作戦～」

言葉の力で支え愛を実現（学校集会より）

よく「言葉には力がある」と言われます。なぜ、言葉には力があるのでしょうか？それは、文字一つ一つには意味はありませんが、文字を合わせてつくった言葉には意味があり、その意味を使って自分の考えや気持ちを伝えることで言葉に力が生じるのだと思います。例えばマイナスの言葉を発すれば、周りの人は嫌な気持ちになりやる気が失せてしまいます。つまり、言葉がマイナスの力に働いてしまうのです。逆に**プラスの言葉を発すれば、周りの人は前向きな気持ちになりやる気が出たり周りの人と協力しようという気持ちになったりして、言葉がプラスの力に働くのです。**

そうした**言葉の力**について正しく理解すれば、困っている人や不安を抱えている人を見たときに「一緒に頑張ろうね！」「大丈夫だよ！みんなが居るよ。」など、その人が少しでも前向きな気持ちになれるような言葉かけができるはずで**す**。そして、**プラスの言葉**を使っていくと、周りの人だけでなく自分自身も前向きな温かい気持ちになっていきます。

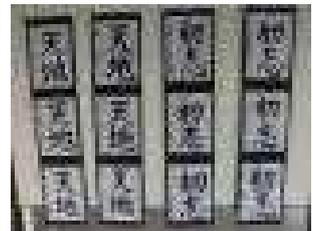
言葉の力をプラスに**使**って学校全体が前向きな気持ちになったり協力し合ったりできるとよ**う**に「支え愛」が実現します。西中を**プラスの言葉**でいっぱいにして、支え愛に溢れた学校にしていま**し**よう。

個性が光る力作を出品＜市工美術書写展＞

それぞれの思いを込めて美術や書写の作品を仕上げることができました。作品を制作する過程では、上手く行かずに諦めそうになることもあったと思いますが、**試行錯誤を繰り返して3つの気**を発揮して最後まで粘り強く作品を仕上げることは、とても価値のあることです。

下記の人達の作品が、代表としてテラス沼田に展示されました。

学年	美術	書写
1年	星野音羽・櫛渕咲來・坂爪陽菜・高橋美衣菜・戸丸碧唯	有馬蓮斗・北村美澪・櫛渕 詩・高橋瑛汰
2年	並木胡桃・江口仁琴・稲田まな・綿貫ひまり・下飯尊生	白石実優・生方夢彩・本多詠斗・千明美羽音
3年	戸丸紗愛・原 穂乃果・霜垣彩心・田村海桜・小林杏優	平井音乃楓・富澤優介・高橋梨乃・宮下絢羽・木内咲希・田邊珀翔



当たり前のことを当たり前に（生徒集会での生活委員会の発表より）



11月30日（水）の生徒集会で、生活委員会より日常の学校生活で心がけてほしいことを発表してくれました。まずは、各クラスの生活委員が心がけてほしい内容をポスターにしてクラス毎に呼びかけてくれました。具体的には、「靴の紐をきちんと結ぼう」「上履きに名前を書こう」「あいさつをしっかりとしよう」「時間を守ろう」など、生活する上で基本的なこととても大切な内容でした。

次に、各クラスのハンカチ調べの結果を発表してくれました。クラスによって差はありましたが、全員が忘れずにハンカチを持ってくるのは、なかなか難しいようです。しかし、自分の健康を守るためにきれいなハンカチを毎日持って来ることは、とても重要なことです。自分の健康を守ることは、友達健康を守ることに繋がります。自他の健康を守るために、きれいなハンカチを毎日持ってきてきましょう。

生活委員会の発表を通して、学校生活をみんなが気持ちよく過ごせるようにするためには、一人一人が基本的な生活習慣を実践していくことが大切だということが分かりました。

休み時間に地震が発生したらく地震想定避難訓練



11月7日（月）に地震を想定した避難訓練が行われました。地震はいつ発生するか分からないということで、今回は昼休みに地震が発生した、という想定で行いました。休み時間ですから、教室に居た生徒、廊下に居た生徒、校庭に居た生徒など、それぞれが違う状況の中で地震が発生した

という想定ですので、今までの避難訓練で身に付けた知識や技能を、各自がその場の状況に応じて臨機応変に活用し安全に避難することができました。

「天災は忘れた頃にやってくる」の言葉通り、自然災害はいつ発生するか分かりません。常日頃から危機意識を持ち、災害が起きても落ち着いて行動できるよう準備をしておきましょう。

定年退職後の再雇用について考えるく沼田市子ども議会



「沼田市子ども議会」が11月19日（土）にテラス沼田の議場で開催されました。本校からは生徒会長の平井音乃楓さんが参加し、「定年退職後の職場について」というタイトルで、定年退職された方の知識や経験を生かして働ける場所の確保や、少子高齢化に伴う労働力の確保という観点からも、沼田市としての定年退職された方の再雇用制度が充実していけば、沼田市が更によくなっていくのではないかと、という提案がされました。市長さんをはじめ大勢の人がいる中での発表は緊張しますが、西中の代表として現代的課題を鋭く捉えた具体的な提案を堂々とすることができました。

アンサンブルコンテストで見事な演奏！！

11月19日（土）に吹奏楽部の中部地区アンサンブルコンテストが行われました。3年生が引退後、1・2年生の新体制でコンテストに向けて毎日練習を積み重ねてきました。時には自分達が目指している音が出ずに悩むこともあったと思いますが、目標に向かって決して諦めることなく粘り強く練習に取り組みました。コンテストでは、その成果を十分に発揮し素晴らしい演奏を披露することができ、見事に銀賞を獲得しました。アンサンブルですから、それぞれのパートがお互いに協調し支え愛で素晴らしい演奏を仕上げることができました。

《コラム～校長室より・校長の独り言～》



11月30日（水）から、生徒会本部役員選挙の選挙活動が始まりました。いつものように私が朝のあいさつに外に出てみると、生徒玄関前で立候補した生徒達が元気よく登校してくる生徒達にあいさつをしていました。その様子を見て私が「頑張ってるね」と声をかけると、

「ありがとうございます」と元気よく返事が返ってきました。その言葉に元気をもらおうと共に、立候補者の「やる気」を強く感じました。



